

住民ワークショップの進め方

1. 第2回住民ワークショップのテーマ

テーマその1:教育と文化、生涯学習の「課題解決方法」を考える

〈趣旨と内容〉

○南風原町の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」を実現するために、第1回住民ワークショップで出た「現状と課題」に対して、解決方法を検討します。

テーマその2:教育と文化、生涯学習の「まちづくり目標」について考える

〈趣旨と内容〉

○南風原町の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」を実現するために、分野ごとの「まちづくり目標」と「まちづくり目標を達成するための柱」について考えます。

○参考資料として、資料3南風原町の将来像とまちづくり目標を活用してください。

- 第3回住民ワークショップ(めざす姿の検討)の基礎資料として活用します。
- 今後の検討組織であるワーキングチーム、策定委員会、審議会等の会議の基礎資料となります。

2. 住民ワークショップの進め方

○会議全体の進行は、ファシリテーターが行います。(全体運営、アドバイス、時間管理等)

○グループごとの進行はグループリーダーが行います。

○意見が出にくい、内容理解に対する質問、図解作成の効率化を図るために、各グループにアドバイザーを配置します。

ワークショップを進める上でのルール

- ①意見、提案は質より量を求めましょう。
- ②相手の意見を批判せず、建設的な意見交換の場としましょう。
- ③立場や肩書に関係なく参加し、自由に意見を出しましょう。
- ④言わなかった意見でもどんどん付箋に書いて出しましょう。
- ⑤ワイワイガヤガヤの自由な雰囲気で行いましょう。

ステップ1

-
- A diagram of a window with a scrollbar. The scrollbar is located at the top of the window. A small square with an arrow points to it from the bottom right corner of the window.

4項目注記
(1)日時
(2)場所
(3)データの出所
(4)作成者

ステップ2

-

ステップ3

- ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ を実践することが
重要である。
- (A. A)

発言者の
イニシャル



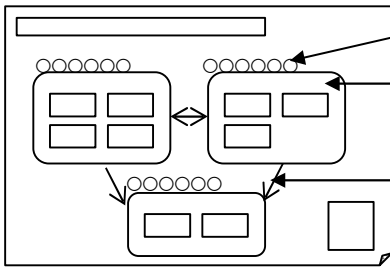
ステップ 4

図解の作成

①参加者が交替で自分が書いた意見(ラベル／付箋)を1枚ずつ読み上げ、模造紙に貼る。他の人は、読み上げたラベルと同じ意見があった場合は、読み上げて提出し、グルーピングを行う。

②全てのラベルを読み上げとグルーピングが完了したら、島取りをし、島ごとに表題をつける。

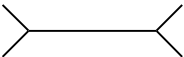

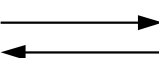
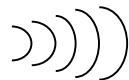
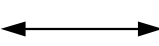
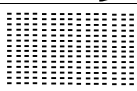

③島と島との関係線や文字を書き込み、全体像が分かるようにする。



グループにタイトルをつける

同じ意見はグループにする

グループ同士を関連付ける記号を書く

関係記号の種類(見本)					
	記 号	意 味		記 号	意 味
①	———	関係あり	⑥		反対、対立、矛盾
②	————→	因果関係、手順	⑦		支える
③		相互関係	⑧		波及する
④		相互補強関係	⑨		浸透する 混沌としている
⑤		循環する			

ステップ 5

結果の発表、情報の共有

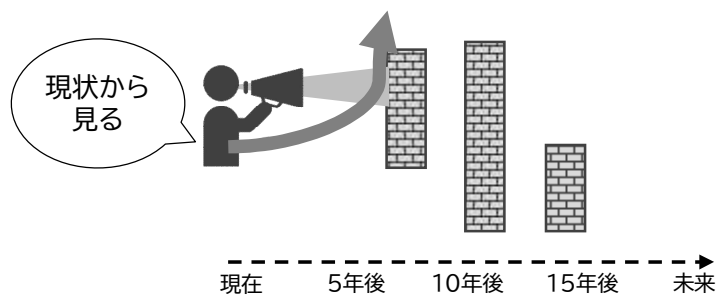
①班ごとに発表者を決める。(最初の段階で決めておくと発表しやすい。)

②発表内容を決める。

③図解を見えるところに張り、結果を発表する。(各班5分程度)

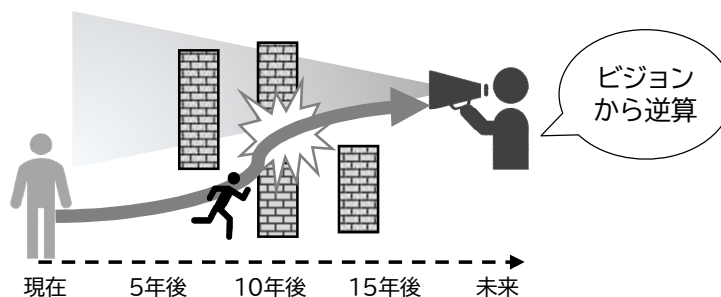
④質問を受ける。

何故ビジョンを明確にする必要があるのか？
フォアキャストイングとバックキャストイングの違い



フォアキャストイング

現状を分析し、目の前の課題を解決する。
ただし、必ずしも理想の未来に向かうとは限らない。



バックキャストイング

理想の未来(ビジョン)を明確にし、そこから逆算することで、今すべきことを発想する。現在と未来に関係の強い課題を効率よく解決する。